

他誌掲載論文等 (所属については投稿時のものを掲載した。)

2016年に広島市で分離された腸管出血性大腸菌  
O157株の分子疫学的解析

千神彩香 青田達明 栗林智早  
坂本 綾 松室信宏 石村勝之

厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び  
予防接種政策推進研究事業)食品由来感染症の病  
原体情報の解析及び共有化システムの構築に関す  
る研究 平成28年度総括・研究分担報告書, 112  
~116, 2017

2016年に広島市で発生した散発7事例及び広  
域食中毒1事例の患者便及び食品から分離された  
腸管出血性大腸菌 O157 12株について, パルスフ  
ィールドゲル電気泳動(PFGE)法, IS-printing  
system<sup>®</sup>(IS)法及び Multi-locus variable-  
number tandem repeat analysis(9座位)(MLVA)法  
で解析した。

今回の解析結果からは, 迅速性, 簡便性に優れ  
る IS法であるが, 解析能力がやや低いことが認め  
られ, 特に疫学調査で関連性が不明な事例間の異  
同の解釈は, MLVA法の解析結果を加えて総合的に  
判断することの必要性が認められた。

A群ロタウイルスのGおよびP遺伝子型別検出状  
況(2009/10~2015/16シーズン)-広島市

山本美和子 則常浩太 藤井慶樹  
八島加八 松室信宏 石村勝之

病原微生物検出情報 37(7), 138~139, 2016

2009年9月~2016年4月までに採取されたA  
群ロタウイルス陽性検体34検体についてVP4及び  
VP7遺伝子を解析した。2009/10から2011/12シ  
ーズンまでは, G1P[8]が13株, G2P[4]が2株, 2015/16  
シーズンは5株がG2P[4]であった。全国の検出状  
況(IASR)においても2015/16シーズンはG2が多い  
ことから, 全国的にG2P[4]が主流であると推測さ  
れた。

カキからのノロウイルス検出について

山本美和子 野田 衛\* 則常浩太  
藤井慶樹 八島加八 松室信宏

厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進  
研究事業)食品の病原ウイルスの検出法に関する  
研究 平成28年度総括・研究分担報告書, 187~  
193, 2017

2016/17シーズンに採取されたカキのノロウイ  
ルス浸淫状況及びヒトから検出された遺伝子型の  
関連性を調べた。カキからはGII.17のみが検出さ  
れ, ヒトからはGII.2が最も多く検出された。RdRp  
領域が解析できた2株はGII.P16-GII.2であり,  
ORF1-2JCT領域で組換えが起きた可能性が示唆さ  
れた。

---

\*: 国立医薬品食品衛生研究所

広島市におけるHIV/エイズ対策と近年の発生動  
向について

藤井慶樹 則常浩太 八島加八  
山本美和子 松室信宏 濱岡利巨\*

病原微生物検出情報 37(9), 171~172, 2016

広島市では市内各区の保健センターにおいて,  
エイズに関する相談と無料・匿名検査体制を設け  
ているほか, HIV検査普及週間や世界エイズデー  
に, 繁華街での啓発活動と併せて無料・匿名検査  
を行っている。

本市における近年の動向としては, 抗体検査受  
検者数の減少傾向が認められる中で, 約3人に1  
人がエイズ患者として報告されており, 感染して  
いても検査を受けていない人, すなわち, 潜在的  
な感染者が相当数存在しているのではないかとい  
うことが懸念される。今後, より一層の検査機会  
の周知と予防啓発活動を推進していくことが課題  
である。

---

\*: 健康福祉局保健医療課

広島市で検出されたノロウイルス GⅡ.P16-GⅡ.2  
の遺伝学的解析

藤井慶樹 則常浩太 八島加八

山本美和子 松室信宏 石村勝之

病原微生物検出情報 38(2), 38~39, 2017

2016/17 シーズンに広島市で発生した食中毒や散発胃腸炎事例等から検出されたノロウイルス GⅡ.2はGⅡ.P16-GⅡ.2に分類されるキメラウイルスであった。同組み合わせのGⅡ.2のキメラウイルスは過去にも検出されているが、ORF1 の RdRp 領域のアミノ酸配列に基づく系統樹解析の結果、過去の検出株とは異なり、2016年に検出が報告されたGⅡ.P16-GⅡ.4 Sydney2012のキメラウイルスと同一のクラスターを形成した。このことから、同ウイルスとの間で遺伝子組換えを起こしている可能性も推察された。また、P2ドメイン領域の解析の結果、過去の検出株とは異なるアミノ酸変異も確認された。

広島市におけるヒトパレコウイルス3型流行  
石村勝之 山本美和子

公衆衛生情報, 46(11), 13~15, 2017

広島市では、感染症発生動向調査により2006年から2016年までに5回のヒトパレコウイルス3型(PeV3)の流行をとらえることができた。PeV3は脳炎や髄膜炎、意識障害など重症化することがあり、気を付けなければならない感染症のひとつである。広島市におけるPeV3の概要、同定までの経緯、検査経験等について概説した。